

第150回 スクエアfreeセミナー

14. 保険業界の動きとこれから

2024年1月25日



株式会社ソフトウェア・パートナー
天井 誠一

1. 日本の損害保険会社 ①

【1998年金融自由化前】

三井海上
住友海上
千代田火災
大東京火災
同和火災

→

MS&AD

興亜火災
日本火災
安田火災
日産火災
大成火災

→

損保ジャパン

東京海上
日動火災
日新火災

→

東京海上日動

1. 日本の損害保険会社 ②

【1998年金融自由化前】

共栄火災
東洋火災
朝日火災
富士火災
大同火災
第一火災

→
→
→
→
→
→

【現在】

J A 共済連
セコム
楽天
A I G (アメリカ)
沖縄県 (特定マーケット)
米国同時多発テロの再保険で倒産

2. 日本の生命保険会社 ①

【1998年金融自由化前】

日本生命
平和生命

→

ニッセイ

明治生命
安田生命

→

明治安田生命

太陽生命
大同生命
東京生命

→

T&Dグループ

日産生命
協栄生命
大正生命
千代田生命

→

プルデンシャル (アメリカ)

2. 日本の生命保険会社 ②

【1998年金融自由化前】

東邦生命

→

富士生命

→

第百生命

→

第一生命

富国生命

朝日生命

三井生命 (現 大樹生命)

住友生命

【現在】

GE (アメリカ)

AIG (アメリカ)

マニユライフ (カナダ)

- ★ 損害保険より **20年**遅れて波が来ると予想されていたが、金融自由化前のままの企業が多い。

3. 保険代理店

内容	1998年	2022年	傾向
代理店数	60万店	16万店	75%減少 ↓ さらに減少 ↓
保険募集人	115万人	185万人	60%増加 ↑ 大型代理店化
トップ代理店	総合商社系	来店型 メガバンク系	
システム	①保険会社が無償提供 ②自社システム中心	①保険会社が無償提供 ② パッケージ中心	

4. 今後について

(1) 保険だけ買う人はいない

- ・「人」「もの」につける、他業界と連携していく！
- ・「**保険 A P I**」：金融商品、旅行、車、家、ペットを購入したら保険に加入するようにシステム連携

(2) ローコード開発によるシステム構築

- ・新規参入の保険会社は新商品を早く、安く提供するために導入

(3) 保険会社

- ・統廃合は落ち着くのではないか
- ・他業種への参入、異業種との協業、**データ提供・販売**

(4) 保険代理店

- ・個人契約：保険会社からの直契約が増える。メタバースが利用される
- ・法人契約：特殊な保険契約が多く、保険のプロとして継続していく
- ・大型化が進んでいく。

ご清聴、ありがとうございました。

ソフトウェア会社の役割は、
システムを構築することではなく、
顧客の問題を解決することである！



株式会社ソフトウェア・パートナー

営業企画部

天井 誠一 (amai@sp-inc.co.jp)